突吸して第廿、世七郎主力 な動物

したわが先鋒部隊は早くも第四軍 において新願河、日水の抵抗線を したわが中支軍精鋭部隊は東正節

か作成における敗戦の苦痛にかん 天然の製態を持み第一。第二次長 旦扇)監備五十四部の四ケ師は 櫛の鹿四軍(第五十九、九十六、 簡単地を載取した、かくて長沙防

お新たに機能した黒南西地や山

限し次の通り報題してある て見た際下級とてあることを重

> 形成。企山郷く永久陣山で展か 門方より攻略するわが鉛酸を一

整備に日今的は気がを行回運動 口の沙口を脅威してあることを した日本組が同市南方四十八や

一級陣地を占領、一方他の部際は、としここに第九級医の重複源熱長

1

0級裏性

西

加煤

るが、沿口の暗形は日本版に要

社会開和明確し所出場が、景後の

配を削することになり、わか類似

従って天鳥山の郷取こで長沙の死

旋回逃避の間隙を狙ふ必墜彈

が設備機能は敵を近距離と引付

とつた、あくまで冷燥化料なわ

B

29

が前方から確認し、自ちにその

光花に引舞つた上は一番機を鑑ったが関秀無比の職丸は隣の無格、下界へと除落の理命を辿った。

では続めて有利た関略上の原製

施山北町陽野川の有力な敵の第 ずなはら十五百夜には長沙豹岸

防防戦地を擁してこれを記引せん 仲間地などの大型語化した開発の 路人家前れる竹つで気後に いい

「脳南即線にて、禁道・受員十八日 一十六日 宗明夜來の顧問を関して話」が次去る昭和十七年一月の第二天

た同日夕郊には長り成外の野州前の田の第一級開地を歌取、ま

殿として三度わが態攻軍の大場下

略ったがに関山の前哨崎地大馬山 がいいいのではいいとしてあ 心のる際は真、野、山南を温的し 20 長がは、や完全にわが国国に

【湖南前鄉 泰纳報道班章 十九日 を猛攻

病してあるが、同け 開部隊の一

長沙前間の翌週知陰は六日旦朝わ

自の「長沙共産部院の立場は全て

びずりや合せた七機の敵機群を長

度関したのち見寝P11一機を展歴 が上述に遊へて比絶なる学中戦を

西北

10一個を温度した

が力されんことを切録する次等で

Mar All San Carrier San Carrie

郷だ」と明した

長沙上空に

一機を屠る

煙戦闘隊活躍

に貼りつつ彼我攻防の鏡砲職は今 是沙作顿以死三年、第三大是沙作

や敗々として期間の山野や蟷螂社

突腸山は長騰山とどるに長砂市

の完全な質問と陥ったが、時介石ー・長沙が筋の重麗では今や日本軍・長沙が筋の重麗では今や日本軍・

の振聴に悪日配数を離けてあるが

際に難して減弱に抵抗する敵軍火

郷な響を加へとれ

関心学展出を含め、わが地上部

数におりの追悼を受ける地下友単

は十七日の後の戦況公禄において、死つた敵戦闘機カーテストもおよ

下にある数牙線長や上空に出版し 十六日日世不敬にもわが顕環日間

を完全に次映させて全機無事職費

さらに引獲き関化から繁建西方に 部隊は十日繁雲南方地區で那一歌

に一時間用不能に陥らしめ関係と

を攻撃、震正路をよりの附属軍事 の一線は同二時浙江省観水飛行場

豊東主部隊を捕捉これを敷成い

一大脳を映へたものである

奇麗攻略しるることは長沙附近の 開発突破したもので、瞬間に封

わが在支航空部隊の新統革戦闘隊

は在支米空軍の階級に、さらにま た軍型男大阪盛および勢九製産場

五軍に関して猛攻を浴せ、これを

数第八戦區軍の定納艦の率ある第

整的に概要した

また九日から飛椒醤油中のわが

震響を加へたわが航空部隊は引

日が開発かの圧覆日の砲兵領地に

[大] 的過去的十人日同盟]

七

敵砲兵陣爆碎

無数の機器原と防器により水上よ 師は殲滅されたが、物陰は洞路が かれ暗然、微節九十九師、九十二 が有力部隊によってその歌後を衝

りの遡江は不可能融され、これを の長がと至る相互の瞬間を指し

「リスポンナ九日同国」軍隊の人

めてある

南下部隊、衡陽に脅威

長沙城外に迫る

の資格は没能敗略の独むく共に家 すまず事大となるので観客向では

一手五百萬の郡起を要認した

進んで真関されに関せずと年間

整備前が退下した

・練用は翻译の顧召である、自らとになり十九日間報郷長腕や確衷 國民衙用に飲みの歩武を消めるこ

前衞陣地を奪取

問答と関心を容せられてゐる半局

いた人月から公面的な一般部用を度の影響・要請するに劉陽しいよ 既随し現員部用と無行して記憶の

近代戦の特殊は次会な相手戦 らて見受けられるので落と目め が如意行動に出つる者も純無にあ て勝用の題目目的になて一宮申述

あらゆる国際管療に西大の 男躍、應せん榮譽 國家的責務や重大 核觀報問部即 上に開始的な成果を吸めつくるる

談長課報情

生西域

能度であって、文字通り転後の関係等することを命ずる國民動員の

出頭したときは、既に徴用を受けた人々が工場搬山に

頭の下る原ひがした。この労働

けてある知場に接し

ことになってある、從つて

然の資料であると共に製剤なる集 際である、もつとも使用を受けた

段徴用・八月から質施

が決
関
日本の
至
上
高
今
は
る
ら
に
関
一
際
の
む
る
と
と
で
問
言
す
る
も
の
で
む
る て明日帝田が皆施して孫胤郎の前、南すべく副開を始めつくある、南 十分ならず、無用の不安焦点に腸 が往々として本観性に對する問題 用機関の本意に成ては十分なる理 られ星國臣民としての面目を行す

原理を収入ると共に質要物質の

動員し、これに腹壁でしての 樹を始高版士として工事施門の

般制用とは國民の一定年齢

工事へ、輸出へ行って関かう。

着これなど、 をあれ、これは大東国際級の主 たられ、これは大東国際級の主

る、それで、一般間を受入れた いといいかうな事を混へると

きである。最終者が移動して困

で、一个類の利用打算といふるのは、野に前別である、ことに一個人

概米英階波の類似を以て観光生産

は進、院私際田の城を唱すべき る者は自ら進んで実際でに関し

も勝たわばならないのだ

召獲の場合と同様な放験込で本人

に對する際き理解の下に、恰も思 の、又開戦士の家族は本制度 新上の国際に強うを本人等に對 制度に依り生活困難な家族や豪 定むると共に、現在韓用扶助の

だては近く特別施設を設け起に、際い保護が加へられる外本所に、

故に一度衛用に依り國家の、要認

る生産唯への配置を命ぎられた

級権を強化すべく計造中である

半島出身の母兵は国際生活がのだと思う発長を時間しても非

生産に参加せしめるものである の手で成力化する機質が成へら 石炭、一片の腕を残等 行けな

我等の

かくる時用の倫理性は企画家。望家がありとすれば彼等の機用

を耐した、お記号の関土を防備の 口場側ののが、兄、わび子の音号に比較 間線にも検索 すれば、変えと瞬間である。 エ おび ちゅう のが、兄、わび子の音号に比較 のが、兄、わび子の音号に比較 を確保するために、われわれは し、われ等の子孫の物際と安全

を得るでからう。本文側接上は、ありとすれば総監判とは続うで、現る文めで自ら歌の機師に身をわればは深部と振順生程の開酬。さる著字を置するやうた弦楽主。ありとすれば、それは一時の安からに表演している。

る皆である。いやしくも問題士、せねばならない 間に放ても十分に認識されておいい對する原機を徹底的に敗める

手でこの戦場を死守しようでは

た際工員、野教者と紹々ならべの中に 自ら悪んで飛び こんで 戦争に勝ち扱くまで、われ等の へ!。われ等の腕場は此間だ、 て郷かう、行け、工場へ一幅日

歌で対しては郷歌と威波を与そ

が同じ國民は所る名がある個 般師し得んで送っていたいきだ

> たわび精鋭的で除は、線頭子部隊 これで完備なきまでに骨減し去つを戦勢開方祭帰山系に包断権挺し れが救護の破瘍八蔵属軍士六ケ師

の間の、炎勢と天阪を関して敗廃

長の劈を開し、砂峭の無洋く其の

に熾烈な温露樹湯を展開、八日盛 部隊を臨所に駆滅しつく緊閉山脈

際を含せしむるやう能が成り

あつたが、こくで願いてゐる好 あつたが、ことで願いてある終二へき万余を寄じて前派置行することが、不均八がは胡振天練者の答いあったが、ことで願いてある終二へき万余を寄じて前派置行することと諸忠天練者の答い 際省の八割位は半島 出身の勢終者であり ことが その最も大切なことに半島産が原因してゐる。そのために解

で色々と問題が起ることもこれ

これらの電が一致 川のにじむ敗間を経 見の地下で既々と

なと思ふが國民は如何なる陰虚

作事情を作ぶ者もあらうし交

餘十三頭一僚定月2一 餘十六回一金前共改亂方塊 (錢六金價定部一) 一三目丁一遊华太區中府城京 駐銀日城京 載會賣合 所行強

が、この人理に対して融間する 北土を差り出した郷飲の人々 内は勿論内地館でもあらゆる機 力强い祭務者の敢鬪 九篇一班 波邊豐日子

とむくゆるをめには内地間はも、 とい称者が受入れる際に内地側 とが是非必要だと思った、半 の急感ではないかと痛眩した

話によって更に繰められてゆく

って内域一體も平時人の原際生

権底してあるためだと思ふが、 力強いものをいた、これによ

生々深調としてあるので非常に、着や根兵を見てもわかるやうに

常に愉快なものがおった、一般

威を受くるに至った

中共に好餌

弱體胡宗南軍

田し地震版大の機を即る中共第4

1、ベルリン十九日同盟 | 蟹空質酸

悬泉通明著

を行うに戦るから戦

直協機活躍す 船三隻を大破した

朝倉書店流刊

一次京都田

製による低下を如ぼこのまる相別観立と起因

題逐鷹三要、油棚船一要、貨物八千トン設置物船一型を廃沈

でい もなずたと要求ばかりしてはい 半婦人は過ぎ方一つによって立 版なほ用になるのだ、戦くこと

氏子曰豐澤渡 最後に残じたことは今回の記

河南前級十九日同盟」今次河南

助は思ったより以上の効果が3 るや根拠した解介石は西安に飛び

り、からゆる機會にこれを繊細

いよく強烈化した健康である

たのは全地域にわたるわが必然な

の六機を膨胀した

神 志 著

哲

亭:

費僧四・七二

獨チリー確保

米軍、半島邁圖

齌

麔

平胸的著

界型·聖

世.

路を設備中米図脱職機像と交航元

符號に終始する第八版區道を叱咤

八戰區軍潰滅 思ふしてゆくことが必要で 八阪區軍は第一版區第の陰敗をよ して原進教授と赴かしの之が、第

靈寶南方に猛追掃蕩 か、第一戦福軍敗獲部隊を正面と そに何ら積極的に行動せざるのみ 他におに嫌いせられるに及んで日 収えてその際に廻り督戦にこれ努 わが辞先を回避、第一阪區軍が

気

米英の緊急

を脱せよ、 そして中

息を運動すると至ったと吸へられ ソープール・ド・ピコントからい

ーヌピルにでて遂にコタンタン半

るが、シエルブール活附近一際は

育藤道雄著

學 F·智

と睡して耳響に對する特別放送を

可能を利はく行く

【图京十九日同盟】國府悉許人は

「ベルリンナ九日同盟」前の

よれば米軍は十八日正午頃サン・

東亞の重慶へと放送

「河南南郷十九日同盟」さる五日一向け追院中のわび部隊は同地南方 地區で有力なる敵欧隆部隊を激滅 するの影響に終ったのである 既には元すべくもなく脆くも高温 むなく表に立つたが、わが機略国 かくて標準的豫備用として出動

唯一の過で

の種質者を促した

に入れをは果ないと見れる 不落実際で米軍が開車に同班を手 トツト工作隊の苦心郷をよりるな

木材化即四田屹二著

學

工業上署

サン・ロー前線では米第一軍は

酸人の項限を同復し、東部人の

それが中國復興の

により報々弱々だる患者を協議。一般の作版指数の批判はもくてり重に難して打撃を強へた。これ りが後期もなかつたことは胡宗南 し酸企画を粉砕すると共に第八級 安慶に來襲の して死たもの人類別された精製な

CECAN SAME TO COME

性實戰 E蓄貯

失して敗退した、コーモン東部とおいても結別な攻撃に出たがシャーマン城事臣六十七種を要シャーマン城事臣六十七種を要

理る大的に難した 関のでは別様に対して、チ と気間、感激作戦を展開し、チ リー市の塚取を明する英雄の女 関も大的に難した

が最く 製造して多大の指書を現めている。

オルタ東岸地區においても劉軍は

七機を撃墜破 玉山、麗水を猛爆

來過した、わび戦闘機部隊は直ち 成る酸脱燃連合十吸機が安慰に 十八日午後十時間P38、B25から にこれを邀回し アヨ五歳(うち不 大陸前線在地震道班員十九日後日 が基地で、 州池行場とも 順近船手 林を中心に演繹の如く花式した前 南飛行場は軟在交合軍が根據地に るた機無事所能した、既水、



大日同 (モスコー

大船関が待機中と含はれる

刊新 寺

毎に描述がはし非師と置い記される国民地議の船局別中の中で現れた思想なび記録過話さる項目局別中の中で現れた思想なび記録過話さる項目局民必認の意識は訓のは本郷を不易に理解せしなべく

京

京

本

山

高

市

・

市

・

市

・

市

・

市

・

・

ノルマンデー展帯神には受職軸の側部に目下新上陸機舶中であり、

島北二著野門西門帝 史談戰陣訓

「ベルリシナ八日同盟」ノルマン

からの前機報道によれば反脳

新上陸企圖か

施設に的配なる鍵盤を加へ、とも が完制攻略に継の不過 とする野鼠が織取され、今回のわ を行ひわが本土が関に役立たせん 路の振暖、 整等、指しなどの施設 派の不過なる企踊は

問ンソ解邦最高国際経帯自はレニ 元帥に昇進

一作戦を指導してある レニングラード財鋼級突破作戦をた、ゴウオロフ元帥は水年初頭の 直接指揮、現在カレリア攻略でも 即に昇進せしめる。二十人日後喪し ゴウオロフをブ脳和元 職線証司令確証大解レ は国もど説はし、多数の四系指 地方に割し候談を加へた。 郷軍場職隊は十八日ペンジルグ 「ベルリンナ八日同盟」獨軍歯屈 米機ハンブルグ爆撃 戰車五十八台擊破

是は背に整夜不断の新聞とわ 【ベルリン十八日同盟】郷籍電記 戦車五十六合を突破しる。

振東一ルー元七四

敦

材

社

エルバ島激戦 人地區の地上戦闘に絶加した

ベルリンナ人日同思」際統大本

夏場所幕內十兩星取表 ・夏場所熱側寫尾集八頁 ・幕下の関系列体…… ・夏場所熱側線放火型回 ・夏場所外側線放火型回 ・夏場所外側線放火型回 ・夏場所外側線放火型回 ・夏場所外側線放火型回 ・夏場所熱間寫尾集八頁

和光記(群)

| 日本勤労 ** ▼勤勢管理組織と生活響の施山京 動勢新體制と企業體制・種桜七郎

(対し、アウン・テンドへで)領

新ビルマの息吹き 要を検験・数らぬ冷線・囲っ 要を放射・数らぬ冷線・囲っ の成力化・機構・ではない。 ではない。 ではない。

れてるる。つまり、元和にも きによって宗発される。位つて削、緊迫して、生産既の効率を財亡品 数特氏の数が含くなれば多くなる。 榮譽ある道 の歴史版士を必然とするとい 人の兵士の際には、八人万部、用も、それによって稼納即の全面、と同じく重要なる親力戦への勝台 般徴用の 聞ると共に、和ら続力増弱に統身 うるる。然も時間はいよく ら郷用をきげた着の中には、

本の類になる産業部門を機能すべ

配用の物能と

高金を期することになってあるが

怒。

第第上精神は
皆然
に必要
となって

れ等一切の範疇を突破するだけの。創登形では国に特別施制による強一戦力の。幾何風的地震にお野する

刀なる設施をも考究中であるとい

ことが、島國民をる男子の木敷で

成れず、政に力を場せて前機に呼

【ベルリン十九日同盟】顕世智局 文献、死間と調べる世しると

> ドーヤー紙は十七日の紙上で一新 戦無人機の強勝についてマドリツ

数学をはロンドンと限られずが

ドンとイングランド書一際は 長者で英國民は一大衛曜か受け口

大日製学・十七日砂場で影響機一般無数を攻撃。セース時で別派一ペルリン十八日間間、海軍監督一院はノルマンデー後屋沖合の海流

が人の収集を招楽せしめることに、

るといい時になる。また、この

的物法的の名によって、

概念日

すことになった。

それに

随へて

行

ならた。智をないなる。 古、その紅土的な簡単したけれ

だけ、既径の高限と様子る密禁取

説 めればならの現状に悩み、間位形

隊長に敬麗出駆する荒濫 質解し、生命物質が耐のことも、所、大分でない者もあるやうに見受け、環境であっても、関係に関して公、観的工法なものでないもの思いに法格格である。本年四月以来、釈釈し、それに対する医院部院が一斉は、たとへそれが経過の工場は、それては演用の名詞なるとと、即

社

では八月から一般発用から収施し 的間上を楽し、人的意識の解除を であるといることが出来る。 ると 歌士といふ特別の当分を戦へられ 郷山工事等に行はれてある現員部、路であって、、阪時においては丘役、寛十が、、劉家によってその身分を ての不安和棋と舞られる背もある。加へられるどになってある。森に し、また不情れたる経路を削にし、方言は影響との場響にまで保護が 棚の都合理由によって開催に困濫。定められ、微用挟助といる制度に な事にのあるものもあるであらうよっては、一家町に困難を來す家族 理て、服然紀代及び要数の制度変で 保護されると同機被費用者には照

に立腕するに至るであらう。 円即ちば沙泉方六十杯の翻職、町

ŵ

酤南

期間では同ば十八日後の歌記公程

開四十杯の相信を開した言意製

湘陰失昭に敬衝撃

スポン十九日同盟「魔魔水館」「じく栗岡四十五軒の株外および四

瀏陽等三市占領

以て開始米が開始の大州軍に張出、生活開館への開発である以上、そ、地にも当ずる手間があのであるが ひたいが、既に名思ある総役この保護は、軍人の場合の軍事扶 べたやうに、個用自腐は國民の祭 進んで簡用に関することによって 頗も含んであないのであるから、 源へられるなが、機関線と、か、既に引機関係の差対での各場があるが、と、大統領のでは、大統領のでは、大統領のでは、大統領のでは、大統領のでは、大統領のでは、大統領のでは、大統領のでは、大統領のでは、大統領の とは然できる。 だ、 見るか 合、心かなる機能が科せられるこ れを担むことの許さるべる飲食の ものでなく、理由なく同題した場 い念束でもなく国民間用令が図 その一家族の者な投票することを

英南部、空前の大火

及んである。
及んである。

つきの語が述べてある

ベルリンナ人目園といいます。 設は百萬人を施してあるが封底 で通常一週間分の関力を一夜の

重巡二驅艦四を屠る

船舶九も撃沈破獨爆撃隊活躍

うちに切ってしまうた。薬防空

概たる火焰は十八月に至るも収率

郷密軍はセーヌ融頭において網筋は十九日次の通り設明した

チ上版は十六日以来が上を行ける 野型山路線域の報告によれば、英 もつて英本土攻殴を開始したが、 五日以降所例ダイナマイト流星を

間三級を後上せしめた

・プドリア海岸のサン・ジョル・プドリア海岸のサン・ジョルを交へ快速経験規名大戦した

数の小型上陸用船組一番差破壕

快速経球と毎回にわたつて収回

ゼノア際で獨独権政権際は数

度を淡土せしの寛然一度を認成した。
「関節機関機能は同でさららす

いて組出に成功したに過ぎなか

ルヌ河口の旅館船集別を原路、船

ンドン銀行の近くも同様火料と包 らずグリニテ、プロムリーなどロ

たり
防シ

ロンドンの意味は一元四〇年 月頃の種類の規能性的を過かご

マドリッド十八日回ニドイツ

家の至上配合であるからには、こがある。即用を受けたる者は、統 を傾用されるかのやうに顕微する

場る個数士には破を続けると共に めたもの間を辿らすががきことな すべきです。その家族また時れ 後生国職人の明石をる矜持を動く 度が強くを削り、女子に微雨はな 者が含か見れてか、にと の家の一般を認めらて、かっそ 扱いて、関東士としての民間を熱 いるとを重ねて心に初み聞く必要 人機をもつてイングランド南部を

ストックボルムナ九日問題ロー ンドン深度一路軍は十八日夜も無 八十四時間連攻

【網門的終十九日回題】次の本に ダイナマイト流星群

はオークストン、ドーバー、ラーヘウ、ヘステングスを終て東

る大火災をつしをまくこれまた

|空に極段を削煙し、夾鬢機甘穀 21 (超型の 要響) も モンタル いる大脳は変態へてこれな影響して発明らかにされた、十六日 情を軽くてあた後が航空部隊、 地上次智能学の歌館と自民一致アメリカが住態情況、世界第一に信望を聴へ、終地がりたい会 取りの死機を豫期し副全の導 ・ 対象する航空電性の削ぐは報。 をどうもじ友担格行動師の活躍・ 名でみためいて 選尾をそんく、 動象する航空電性の間では報。 をはて終りし被機の得入に関いて、 これをとめいて 選尾をそんく (関る年の怪物)でしかなかった

ひかくつて來を不得なる他人機 わが後間観問機器は限空間の が関係性機能八幡目掛けて脚

となり終ち失河状態となった。

「東京協語」十六日級在支米空した、戦略戦の状況は現場に派、早職級機の北九州侵攻企闘を巡 我が戦闘機い凱歌

胸腺にすびこまれ 19は雄様み

の光圧の中にしつかと捉へられ 格舎はじめた、その間隙を狙つ 上げ版回しつく物げださうと足一回の配をとった、この旗回の間 しかも大派に助方からこの攻撃 みるや、症然見敵必殺の鬼敢極 たわがが職は軍に見事に施機の まる欧郷攻撃を加へた、 東空駅 が十分な射程距離内に迫つをと 機を派上せしめ、窓中に処々た

度攻前面を狙ふべく攻略原動を一機はまつ所側の競動機から火を 競したが続いて内側の総助機も 際をついてわが方の必然の初間 中を落ちて行ったのである 逃避を企て未際にも直鎖せず歴 しわが戦闘機は側方からの攻撃 止張り、火湿臓となって間夜の は終ちにして『知の内間の範囲されるに至った。しかしたがら 際線に入ったが、際いた機機は もわが限点線は忽ち傾起し、間 ついで來郷した第三の歌機をなったのである B29の職はやすく

機はよう外側の範別機から火をちぬ。世界一の安部様と極が終いた脚側に内臓に気中さられて、かくして「配筒機では影響と圏 を図めたが、今回の北北州にお 29は経過酸せると調々たる自信 医園園の深い浴林と陰酷してB けるお200段隊と相俟つて脱品 際は印支間を空輸中のR29を印 吹きれるといる。それない結果と 奈に見事物の期待や取切って粉 機の形大きがこくに如野に立窓 四月中間わが在ビルマ航空部 て行する限り数の影響を過く 数権し去るものであることを 三度のわが本土灰鹽を企両する が認力なる航空武器の時である 職都米はこの失 國民は自復し、日夜を間は予切 ことは必至と疑問されるが、わ ことが現場において確認された と比較して依然 れて見減必殺の問題機能と取言 一方版の路域機関的もまたわれ 古いものである 敗に繰りず支

マートにきます。
「・エルベ級の小部市と小東南部に上述時)との対象市と小東南部に上述りと数部隊は興奮の反映に、かって根上に提到された。ただマリナで伝統は小種頭側を設めた。 なだマリナで伝統は小種頭側を設め、 なば十七日 カボリベル 他間にも上間となが

ものではなく、この様々なるは、地球の味比を関からのであるものではなく、この様々なるは、地球の味比を関からである 質品らかと観点を続ける航空 加へて來をが、簡かの地面にお政は大戦魔部隊を与うて攻略を ラシメノ領領方)関方地であり の規範は十七日もベルジア(ト

国變制

一月 千秋泉岩

五日號·敦國三十五錢

英版のと思ざある、郷空間のないとう、制権機もなく国 【東班金蘭OO工項にて無機特派指導】原ひは定ちと航空

と繁弱をしめずにはおかない。自つることを弱く胸に叩き込め、自つ

グネシウムは周知のやうに苦

主までが場合に関けて常開助利用 立括れるも無しい所は第8年えず

など日日をでは長い方ですぐボ

世に加熱しつく関係で解解する

一口のが大戦に入れた経路マグネにふりか 型と注がれた経路マグネにふりか

概ける、流れ出る汗と懸さに工質

のゲートルをおいてはあるが流れ

・金属者に配削して今日もマグネーさい。 を終とはい間に立ち叩ぶのである。 である。

きであらう、い京も戦略工場の職会であらう。い京も戦略にも比すべ

かしめの気所の中での信仰は確分 と明るのであった、そして次にし

「必解符么、六月城代り得略競

の際が状はなど第一級部隊におけ

回収も概を始めぬやうしかも縦一件と姿勢の不足である。大局的に

いつて岩をは瞬期とあるマグネ界

底的にやればメダルは必ず出ま

を娘にポロくのズボンに形だけ

かのだが、さらにその形では他の

次から

水へと扱取って

伴ふ、だから多くの工員は上平身一思へばガスと観念に失順し終らな一掲げられた単常省戦金融局長とり

のである、暗旅に交流と自然を て略解するのが第二段階となる

用者では帰化ナトリウムを加へして破解工場に入つたが、入つた絵

んなひといいいのの方々などうして出 ロボロにはるのださらである、こ

のであるが、八楼間乃至子時間へ で輸化マグネシウムに分替と研究と、 のであるが、八楼間乃至子時間へ

からは天々交場内の傾りが見はし る、見れはズラリと近んだ既除物 つけたが矢張り眼底がヒリンチ を得なかった、あわてトマスクを てついけにゴホンくとやらざる 機にムツとなるこのガスに先った

酸酸ガスにして過び出すのだ。 チ上続けるやうに吹えては消える

権びついて水や容んで広まを作物

それは、昨秋九月から十 ◆聞へよ記録、遊れよマパネナ

たちはひつきりたしに水道の径に

際に貼られた地面標的は向らの際

統制でから扱られた地帯機能であ M、企識マグネ工場を動覧して行 が自接第一級に終る「殿ひ」であ一ででは工場周疇の山々の樹を殆ど

時四十分に攻略が明めされて、この第三萬は空間など、総び事前の際のはとてある、十五日を甲(の間の原則に吹捧くられてある。

れてをり英本士はいまや戦に高

小理的影響が一致と聞くいると いかのだから機関と現へる重要的

信のみちを殺害があったほか能細

側からは多大の損害める見込む 見へられた指信とついてはドイツ

定的影響を聞へ、合らに競艇するが気の重新生産の能率に決

大きい、英國側ではこの貨器は第一般的に対する影響は非常に

今までに動ってゐるところだ

しても取大な監がは最に大移動す

担似がいったない。しかした貧

れば、間の印像工場は始かど等定的影響を聞へ、さらに競技す

変たひつまりなしの攻撃が続けら 十十日夜から十七日にかけてまた

だけ調日源夜の大樹園を見へると

る。まととと「無金融ごるは、軟階級のと質で

屬金輕

題化マ あ解案とマグネ かぶの関係によ

出せ、マ

の製法はすべてが 直接過元法を除くマグネシウム

然比解域の鍵であるといへよう、しいもだ

花形ときる地色風もその生みの工

は先づ職氏一首度以下の氏語で き、もつと押していくば言

出するといかななが、一方、鏡(でもなく物物ガスだ、その的らで(は伽楽的と思いれてあるので見え)ピリ人と独情が態と似はつて楽しと観々グラは神内の略像とは「になく立ち終ってある。いかは、敗土質の吟歌だっせい たがそれ、ほどと鏡側に対でウツカリすると

口服

に漲る闘魂

はない、濃氣が吸び易い苦汁の存 提供して 明るく確かな あで 協権内を残って歩いたが、同代の 聖者との工員に混って総日、工

とれが所聞解水であつて、このとれが所聞解水であつて、この リウムを加へて加黎するのであ れにさらに耐化加里が終化ナト

ゐる)と音行を加へて展還、原の際の影物リゾニンを傾用して

ってある。町内を聞くと聞い形に

が一般部一時水・日常とすべてが終作し、一般の分音ははあカスをけではない。

しい。だがしかし工具は決してが

質の表形がと無に

割別間において帰ろなる的積を

つて恵々御酒の自家設道に製出す ことで工場では保持期の施売もあ 職に暗境の開発と効果があるとの

け、野男合宿敷の食点な食器熱に比例の初級親にこの工場を割り上

ことくなけ、恐怖中とのことであ

旅

新瀑布紙ノ新瀑布紙ノ

樹方・最杉・双双 社会型工業が巴木川

2

ar ar ar

又も然類も能質も解れない、即続 るものではないが根除限いこと移 る、それは初い生命に原動を強へ

好良額を收め得たのできる。いぶ

を適じて經一位獲得というあって

は最大なものであった、全國工場 なく戦闘に質問した第二周の酸果

さ、観察者の片野保景は腕一本か

るが、その技術と極致を認められ

て忌び、職員に資用されたとのこ

と認むなけど的るのであった。酒

増強への機の人れ万は大したもの が、今後さらにこれは個化されね がツト生育にはCO名の科人工科 の適出があり地に採用使用のプリ

の機能になるものとのことであっ

らの指示によるものではよく現場が、きげはそれも決して環络所か

マグネー語はのませんと

る。が物が尼のためには女子工時

茂國を持つ歐洲の被闘について表ることは明らかで

あるが、攻略暗暦が次 内に限定されてあると

いるないでことにな

ついての生産競争が行はれてある として金貨を大明に分けて会場に

> 大いですが、その範囲には大いですが、その範囲には 苦しいでせった」との時間でも

入手切とあったといへよう、徐爽 おける生剤に下は主として原料の されたくめであったが、その後に 見さいの工典は表別のこれと続け において昨年末は微な生滅上昇は

れるものと領权される

前では 現在までの 語の概例は自立十六

の説言がそれを強してあるのであ

五のやうな汗が採取に聞き出して ぬがいい語からい、う日した何には

マグスンには何の汲取口から汲取 類が長い数の内村で常数した金属 防器面かっけつる技能を受いた工

炭に凹たプリケットを掴るとい

らのマグネシャに資元用の炭素

でこくでは野水アルコール製造

織である。そして航空機を摂成する機関頂荷の七

一名、エンザン構成の五三元が一金銭で消られる (発るとである――ことは個別関称原門も知る常

にはリンプラ火が使ったれらの動ったれた部分に、この一番での動き下島の門に乗って飛行目につくの一番そのまと取力」の大文学である

期間に飲み下暑に駆して如何に前間しつつあるできいのであるが使用から端まった物を順法能達能

官な知識さもつ明然に拥持されるところ極めて大 大な成力を必要とする概念層の生態は、概と上界忠興機の鍵であるといくよう、しかもだと また、それは我らの連命や概る網であり世 あり、その場所の成否は敵局が決しそして 即わこちらでは丁度い、加減少の個技術したい心緒である

が音々日本人は世界中でも 「館すれば河ず」といふ語がある

空襲警報十二

六 時

發進基地もつかめずたド呆然

のでん底

・頭の、吹くさいのこと

の関切だから有難くごを受けて來

類狀は繋なく京駁することができ

足してあるとかいふやうな単純な の才能を強加すれば既林がない

とが時間が足らないとが人手が不

には古るを発生 だけでなく欧州路

話があった時と信じるが、析的

ってみても明かである、この天興 作へた物質文明を完成し、これを 品惠之法、 为实、中

同盟」ドイツの新 兵器による対英攻

1歳の問題的歌劇を表され、「元々自むずしてきる場響に表す。」という時間に大田間にて南端、赤原郷で始らなく、李禄地は手に調的に大田間にて南端、赤原郷で始らなく、李禄地は「以外に入べいま士人田」が高端に出するのようで

うと目論んだ日本点郷記載などは

郷密兵器 のことでかから

欧州で英國ラジオですらほとんど

年の間に欧条人が敷目年かくつて

た事が断く情現せられたので、

関かといる地心が吾々全日本

今日数アメリカの協定に続しては

度間朝神が整元される。一年年四月の東京定義の鑑問期間の下、末だ丘間四の山とく、生人して大郎不得の いしょく 生人して りが と取組むのは眺場における氏の紋閣と同じく割別な に死傷者に對する牧師措能である、しからこの對象 概義の防空版時の劉察は標度縮から耐る火災ならび

カ一致、相火に活躍した場である。同意、聞い故

隣組の敢闘精神

くえの合けじ現はますく高級されればならい。 昨日秋から昨年祭にかけて東京で起った火災の七

空かに振舞したければ観をやつつけることは不可能

死、投力して歌嘘に難り込む、あの精神で、食歌研

である

殿蔵へる明明で、だ との手握れか出漢泥理主義で原始 年この方字製込むといはれてゐ

晋人特有の部類で工夫しょうと と一般の注意が晩起した

手を工夫し

徴用に

0

7

一個機関症の大統合は、あら

と示されたい

国軍国として一年以上開鮮外の

答うである貧電型脈の如同

原り今近極れた仕頭に従属させ、かめるから、さういか人は能ふったり、さういか人は能ふった。

を同位す「軍公公に後用される

る方針である

然り朝鮮内でも事蹊を節に

勢してもこの方法で誇るにして も適用される労働は大したこと

用る政施した工場級山の野祭製

特別氏状態によって極度遊聴が

れを受けても出頭しない者があった場合はどうなるか

答。そんな不心的語は國家的師

そんな不小的看は國家的動

の情報間かられる

して出頭命令器を残した時に、こ

それでは観用会器を受けてそれでは観用会器を受けて

歴にご注意:油断すれば

日名階級の音がをなったになるが 答

その除外着の野魔や真酷的

名、生生月日、本物な住所等をつてする書、即り随復類人で現名、生生月日、本物な住所等をつてする書、即り随復類人で現るのか 答答を 全部ではない、 そのうち國

みて民助祭順裔 は「総符の原場 としたを記へ 今時の空襲を順 あらうが各家庭

午後九時のニュースに次いで左の姉く内容して時間間の手を中後九時のニュースに次いで左の姉く内容して時間間が不能調用中降は十九日の上で登録は大きの 菰田中將放送 記はなる、ごは日本 役所で的断膜部 い的な簡相をやつてある所が少くないやうだ、現在の状態を見合はめからて、現在の状態を見合はめない。その時だけるの最を行しかい、その時だけるの最を行しかい。 な規則に提供れて映道のきかな

を考へて、その手で現在の質問といいまでも、その時その一段では一番いく方法だといる事 を見帰して行く工芸が貯断だと

民防空に臨機應變 よう 物し廻つてごいならい、必ずビツ 度自分の家なり工場なり風機なり いふやうな目的を定めて、もう一 クリする程の機物を得られるであ 役所の官庫や物質などを見直して 次に、素やく哲説規 の動にまで考へて見合この現状に あるからである、吾々の防なもこ らない、相手の敵が概をかく関が やり方で明日やらうと考べてはを も今日やつたやり方を同じやうな 別で決して同じ様なやり方で殴び をしてはあない、又同じその欧で てゐるやうに思ふが現場へ行って し服装同じに話を持つて戦ひをし 防空第一程、17

のれ情も 問一瞬時間在はどういっとを 決能下に一人でも決勝することは國民官所の強制から許されない。

統役の関れの順名である、県國臣民に響しく賦明された三高なる姿勢である、常用戦権のを納る として各職域に領職所出没したが、いよく近く公面的に一般樹用が保険されることになった ゆる職場に弱く逞しく弱り高いてある。さぎに現員衛用命令により職場戦士に発えある「現役」 督 府

きく

验验检、思己學校、大學資料及 の公思、中國校、西洋原校、師

政用台により敗用解除後一年を

大陸に在屋する者、朝鮮機器府

用を測弦としない者は除外する り申告を爲すべき者、既帰師職 陸海軍原生正使, 哈海山人跳 役中のものおよび召集中のもの 課所文は警戒所に入所中の者、

物布を終へ近く人巻を敬担をおり、数年も今による契申告書、数兵、対事告令による契申告書、数兵、使が消光之る技能者、動員職業能、使が消光之る技能者、動員職業能 場領山に勤教する者、國民職業工場、即も現員領用を受けた工工場、即も現員領用を受けた工工の民衛用令際四條部一項の掛足

は全部一世に後用の単級者による 合治語になった消以外の著

間 それでは関係者の中には國 質が続に接着することだなるのか 技術者でない今まで取る的

生物として著版する対である。 に設用の方法に勝ることが図ま

込むことになってをり、腓鷸時間日名、希望者は七月十日までに申

ギニヤに轉節前額種株の輸送、道ギニヤに轉節前額種株の輸送、道

レバリックベベン攻略版、コレヒ

見て政中に突入、狼狽する敵敗権にも雨飛の政弾に伝言す役を

面に炭酸が酸を納行中向れも

数問題のために然なる歌士を受け

困関極に望するも用せず木の芽焼比の気力をもつて従事し腹腔 び砲艦下と随山棚機、屋株野機

長ととうに認をとり圧動を練行中 路開設、陣地横線に従席し座広勝

際二分は常備消防の出動を待たず隣組の括動によっ て消し止めてゐる、陰陽な言葉ではあるが。他人に

一世の樹石とかり今回長を通りより 大毘龍門と不滅の武師を嫌かせ崩

派の中を放然政前上陸する島軍権兵の意気込み、決 想るなどは防空跳響とも概めて薄切である、曙丸雨

見逃し

てるた美點

紹介運動に再認識

心してある。たい

何んといっても取時通信に征せ

際に内壁人相名

どついては自然でのぞみ熱血

例と引かれるが関東大震災のとき、即田佐久間町の

恩賞に輝く半局三勇士 | 歌野人部駅は特別部航空川等す各一多坊で飛びの設定に沿って圧村城|| 電影サカ名を放ってある。このう ※と比別なる酸死を終げたもので 附近の戦闘で十数倍の数と交流

けたもので烈々たる政院補師は

関の中山秀夫、武謀元利・著谷思・大と派権政策とてあるが以下は承

一に報い奉らんことを称かのでで戦略の国現を燃やし自恩の国

草を噛り奮戦

の光楽に浴した高砂造家味中山

「台北版町」今回の輸の行貨で要 も時間の際命を押し功七個八松 高砂二萬士

元大以下<u>四十名は拉元中</u>除に所國

腾

中國指方はみな関係によくやつ一

がくながる時で 日間 一部日中

製中文解が続けられくは米立側圏 て來た上層用の質材の大学 が関してこの対応器を採中で刺殺 あるから頻策は新に関う響がない 今のところでは高射砲をむやみに

エントリー無能局、英側施

丘器の威力を防ぐことは出来ない うと他てくるるがそんなどでは新 しその被害を最小眼形に喰止めよ この方面の海岸一情に活想

に過ぎずこの攻略は

に割し類似層層では「新民器の

ことはないかとの質問 半面を見ることを

シビ鮪來襲

新浦沖合い

つて組みだい「養婦」前田通信 で上下一致の愛問な関語をはか られたる屋前は置い、これが経

大岩野芸命のやうな機い

今年も十五日新浦沖合の定院時に 新浦等で相信な情があったが、 かつた頃が昨年珍しくも暗神堂、【威夷】従来東海岸に流張をみな

いつれも超大のクシビ的ケが水場 十七尾、西湖州合の定置昭に六尾

ない、野智に発を何時如何なる報復攻撃の第一歩に過ぎ ことになるだらう、類望では 出現し英米を一層混乱に関れる

けられてある。 放送圖

★ 40・11の開始の域、再発 を外、日本放送合画圏、尺 八「温公」日本放送合画圏、尺 の「日本放送合画圏、尺

(0047 ポッシ 体って軍隊 識を得て下さい **峯漢麒龍海影** 金洪崔金仝李[南 二十二四日驗公開 |驳候間生前の||御屋 |紫頻霧中の處 六

大・〇〇新内『一谷島渓紀』組打大・竹松渓 下一谷島渓紀』組打

203 どうかこの映画に 9 好口

化學商品

本数 東京市京福祉成本四二/一)

既話本局五八二

増産に農薬

関結して進む

家園有名機店百貨店に有品切の節は歌曲が大

腦溢血

尚危險

。则凝肩 嶋耳重頭

をうます。この談別は後頭部への無いでは、 ののである。この談別は後頭部への無いでは、 のである。この談別は後頭部の、血質、 のである。この談別は後頭部の、 のである。この談別は後頭部の、 のである。この談別は後頭部の、 のである。この談別は後頭部の、 のである。この談別は後頭部の、 のである。この談別は後頭部の、 のである。この談別は後頭部の、 のである。このである。このである。このである。 のである。このである。このである。 のである。このである。 のである。このである。 のである。 のでる。 のでる。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。

答。陸極級作業題に使用する場 合の外は原則として現賃懲用を 答の言の一 今回の一般後用を驚励する

で行はれるか

問、出頭着の段例はどんな方法(答)、除規取配でない限り不適格)

労用不動な物の中に入れるか。 ・ 教師後表記述に近郷刺刺教 ・ 会師後表記述に近郷刺刺教 ・ 会師他と大いそうな不心特徴は ・ ならくないと思ふが若し始用を ・ ならくないと思ふが若し始用を ・ ならくないと思ふが若し始用を ・ ならくないと思ふが若し始用を

大幅館 答 場在園長衛用検助規則によの遊遊 に就て何か著へてゐるか。 の遊遊 に就て何か著へてゐるか。

者地方錬成會

の八辺間で接機関が木 になった、この飲成質は開

つて
軍事接
設
と
同
じ
や
う
な
挟
助

込みの成な行ひ、風料、質料、町

味成道場、原稿等で前り 振順會後極の下に主催さ

聴者の角版となり、希望者は一週 究座版権などを誤目とし終版は受

気も非常 に安心して 動けるしてある。 家族はもちろ 風元は特に徹時間音を許し

だけ粒の揃うを保育な勢筋消をを押してをる、その一は出來る 得ること、その一 伏統後順召の 答 身間検査だけで行ふ。 が國民衛用官立曾の下に殿正にに依つて各府地で指定した殿師

ほしい、これも就後順名の衝離 問金領上家庭の原理経営者政

でどの位権用がある見込が

施設を設けて関節士や、其の他だ十分ではないので近く特別の べく目下空間中である を行ふことになってあるが、幸

資を本月下旬から八月十日まで全世界が一番を

大 海郎 外

思滑北道

平安北海

利七時京城籍列車で家族同門憲任 通信課長着任 前田遞信局

午後二時間長いて入つたが語る 盟婦したどけで全く未知だ、仕場のと言 種子と土壌の消毒に 暖

三共のメルクロン 升壓出 昭和實藥縣公會 朗醬雞星

雅 社

戦を加賀に購入てある、十五日の一戦を加賀に関へてある。十五日の一

が現を施げてのる機能である。 と違くのというこのをは、の とないながられている。 とないなどが、その とないなどが、その とないとなっていたはない。 とないとなっていたない。 頭の心臓部の単無機関は脈痛状 なく理論的に行はれるので、第一に空観と同時に攻略が 随場に合れるやうなことがあらあるから假令ロンドンが完全な ンドン大学機に堪へを英國民で

では、またりは関節間のトツブ印 立て入るを第二版版の成別なども

豪語して あるが、関の 南部英國、ワイト院などに集 便されるが、その残へる影響は近 のアイゼンハウアー型の後層部院 一般施設、飛行場などにあると意

員を入れる防空機は古つ間間に出 來ないからこの攻撃による民員の 大なものである、数十ケ師時 には名でもらう、英国間でも対 位に数を抱るため上側の科朗者を がになってもらう、英国間でも対 用出界なくならう、また上層に版 用不能となり、これを北に移言る 映製品地および批行場は危険で便 新地として絶異必要な英國南部の

に基実決定される、と質明し班場所に援助するかは国際的務局

開的攻弱の深間を仄めかし、こ

沿湖野院經殿和公司田峡

数である、これも排水線と同じ じたもので船が極み得る鉱物、燃 水質から空間の場合の排水量を **感留では五千順を順防駅金した** 愛國献金譜

16

发光 船上尚被必

といふがが出るので同様ないよるといる。といるがが出るので同様ないたる。

なった、一個一百五十一ガロン

船といへば我欠は喧

ぐに何于暗、何思略

一般制して終め三ノ八〇、金属正を附、青年挺身隊の滑橋運動 慶鴻進町一二七、 加澤英元 放及違は、自由に提続っていく管

監督を無いであるが廿四、五日頃 別水派をあげる保留の場所 いら開設する設定で海の子もちを 學童の水泳に警告 川時内でいる「選挙、防災 保健当社では海水浴場の開場

水水に充分なる注意で喚起するや い时では十九日各島校に對し段軍 見され初めたが、毎年水水川には ならうと、泣言く性に頼んだの。は、視点線から遠のいて百姓に

怖へて 酸質取締り 興を固めて あ 観さが加けると実質心が耽緩し、 その家を狙って鼠賊が弦楽する。 祖父も、矢服り、彼女の前で水でした。彼女には場に皆る隣の

五月中に経年した青人盗罪に敗 一件,京町十一件,宮町九件等 死を嘆いた涙が、まだ証さもしなたのでした。ところが、管理の高

選を配した水地が一番命かった。

ました。朝鮮には習から配の話が 水池に呪はれた話ばかり聴かされ と大派は、別るな壁でつべけたしてして

ものだが、僕は応など陥いと

元から、所郷は小さい時か

人館の一家は、水に呪は礼頭

しまつたのである。

地で、いくら概だれても研まらな

かつたのです。ところが、あれ、水

崎へ製造

青葉組

[] 风本

歌舞伎

勜 Á

者

2 日本學獎株式會並 第二浦學發析

求

西原**庄**原人科

點鋼管販賣株式會社一

気質十二 指腸丸

MENTE MENTE

本

人がは、ゆつくりとまた続けて

悪臓民のやうに、脳父は、子供遺して願へくくと引込んだのです。 そしてをといういたのが、今の際「『京やー』 だから父は、一生にたい一回しか の父も、さらだったといふんです。

城實施能報國餘 織山戦士を慰問 - 開始時報第10章 內容

10年では大人間に当 はる男女恐症の人所式から興製物である男女恐症の人所式から興製物である。 ▲哲少生感作勃起率被式上始世后

歌劇響

作电建设。 中处受付 中处受付

を密心できた。

場剥央中座

會社際語

日今芸芸

・密っては日報報表しから

圏 スむ

動かっき

州

職業紹介

城

氏を終廷と解使物の歌を結成して

京日俳壇 高兴唐子道

内容

山苗、百個以其、七

廿日(經濟)七月二日

· 求高級素人下宿

料が正常にレッテル、奥本

でなって元二番 事務所

蓙

公

若 場剔一第 座 治 明

てつ迫も切封の。んさ隊兵。 箇時 たし 数森開日今は、んさ隊兵。 勘樂

大学(大) 1/21 (全) 1/2 (1/2) 1/2 (

ベンガルの月

三共産業社

の方面の一十五個

不動物

ル隊

のさ

月ん

剔

今明日限り 一番十二時半

若劇

出「質素酸」五段、関じく「大 在法公司指行、自一友医院成演

一般・人の対(素品等) 日本

姓名在社

显

が海面で、白曜はじゃぶくと泳 海 ある挑戦者 (III) 1 0 書(48)

京日案內料金(和多)

羅文□士 **監化** 1

三世紀

杉臔の肿コ

裕調 之太母 喜ス 園 zむ 世界母童 z で 京場 湯 南城

催さすやうな、いやに、真調を静 鄭玄雄(繪) の論、これとい

もう場合ないといい風に怖気つい 記長がに式機合家が開始的学で、

京城チッ製

國

空室三征

一干四日日 二十二百0

の佐船端去

ユニック 科楽日

馬 三 二 日 日

一上月

喜

日土

『もう止して下さいまし。私、何 大派は、 と明なる。

沙鮮林業開發

三彩五場

松石

号越行物

數名募集

日本二

場劃洋東 化交日京 劇

八日周月 田會

へ 大月十九日より 大川主作 村田主作 ・ 大川主作

話はこれからです 限した。話を

を経がった。 谷間の一盆地 に村がつくら

水質点器所向成十二 方本及古家具

Ë

場剔陸大

淡尿

島密島征 密急征一大日

安

あつた言りで

るが成功を持つに対している。

末貨素質の大の素

富田石工日北日本に

可能的

を選手で 一旦日本 を曜 て片 溶 樂 喜 日朝館花浪場劇花桃 舘

加盟 丸一一 御里は 位の九

美

優 場劇寶派 朝鮮包装株式會社開蘇附甲墨灣米島町一六三

性流科

入院室完備·X光線

柱洞町 入口 東角 電光③821

据 選 送 計

三本社事

藍血質

吸壓 朝鮮必需食 於血吸壓療法專門學校 上述通信教授樂體 養醫學の思想化論 3 6 日本的農場 發品 人 **阿姆爾太**

第一般 W 公 告

COL A

三十日編馬 二十六日月

京城府中區以召町二丁自土帝祖 小林 百 平 自 勁 审 堺 丈 會